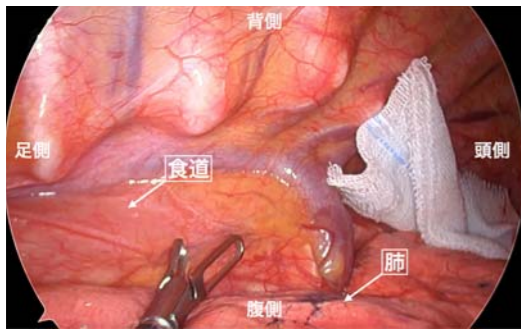


「食道がん」についてご説明します。



昭和25年 当院で行った食道がん手術（トーレック法）の症例

ク) 医師が左胸を開けて、胸部食道を切除したのが始まりです。
「**食道を切除した後どうやってご飯を食べていたと思いますか?**」
なんと首の食道と胃袋を自転車のタイヤのゴムチューブで接続しました！
今では考えられない事ですが本当の話で、当院でもこの方法が行われていたんです。昭和25年(1950年)、今から70年前に当院で手術した後、元気に過ごしている患者さんの写真が残っていました。私もこの写真を初めて見た時に衝撃を受けましたし、当時



胸腔鏡下食道亜全摘術における右胸腔の視野

の食道がん手術は死亡率が95%だった事を考えると奇跡の一枚です。
その死亡率の高さから、食道がん手術は長い間試行錯誤が繰り返されましたが、目覚ましい進歩を遂げることができず半世紀以上が過ぎました。
1992年にイギリスのCesna(クスキエリ) 医師が胸を開けない、胸腔鏡で食道を切除しました。胸を開けない手術によって肺への負担を軽減し、合併症を減らすことが可能となります。
当院でも胸腔鏡で食道を切除し

では、食道がんになったら手術を受けなければなりませんか？
病状によって手術以外の治療法もあります。具体的には早期がんであれば、内視鏡(胃カメラ)で腫瘍を切除する方法。進行がんであれば、化学療法(抗がん剤治療)。その他に放射線治療や免疫治療という選択肢もあります。さらにそれらを組み合わせる行う治療を集学的治療と呼びます。例えば、化学療法と放射線治療を行っ

集学的治療法

初めての食道がん手術から100年以上経って、様々な努力と医療の進歩により、全国の食道がんの術後死亡率は3%程度まで改善してきました。それでも他のがんの手術に比べると高い数値です。

外科医から患者さんへ

食道がんはとてもやっかいな病気です。まずは予防が大切なので、先程述べたリスク因子に心当たりがある方は、ぜひ今日から改善してください。
もしも、食道がんの症状に当てはまるものがあれば、ご相談ください。
さらにもしも、食道がんと診断された場合、当院では、手術はもちろん、内視鏡的治療・化学療法・放射線治療と、すべての治療の選択肢を持ち合わせていますので、病状に最もあった治療をご相談いただけます。

外科・消化器内科・放射線治療科・薬剤部・看護部・栄養科・リハビリ科、みんなで力を合わせてあなたをサポートし、病気と戦っていきますのでご安心ください。

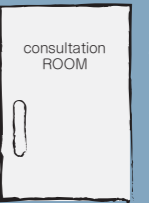


診療部長・外科 科長

絹田 俊爾

きぬた しゅんじ

きょうは
外科
です



こんにちは
診察室です。

食道がんについて — 歴史から見る 食道がん治療の変遷 —

食道がんって？

食道は喉と胃をつなぐ管状の臓器で、首から胸の中を通ってお腹までつながっています。食道がんはその名の通り食道にできるがんですが、首・胸・腹の中でも胸にできるものが9割です。進行すると食道に沿って首やお腹のリンパ節に転移し、さらに肺や肝臓に転移し、やがて全身に転移していきます。

中年の男性に比較的多い病気ですが、最近は若い方の食道がんもしばしば見受けられます。
症状としては、食べ物がつかえる、熱いものを飲み込むとみえる

などがあります。がんが進行すると、胸が痛む、声がかすれる、顔が極端にむくむ、痰に血が混じる、体重が減少するなどの症状が現れます。しかし、初期では症状がないことが多いので、検診で内視鏡(胃カメラ)を定期的に行うことをお勧めします。

食道がんの手術はとも大がかりなもので、例えば胃がんの手術であればお腹の手術を行います

が、食道がんの場合は、首・胸・腹の3箇所を手術しなければいけません。3倍大変な手術とイメージしてください。

「このような方は食道がんのリスクが 높은のでご注意ください」

- 喫煙
- 飲酒
- ヒトパピローマウイルス感染歴
- 食道アカラシア
- 放射線治療歴

検診は大事

〈食道胃接合部がん〉

食道胃接合部がんは最近注目されておられ、その名の通り食道と胃のつなぎ目にできるがんで、増加傾向にあります。食道がんとも胃がんとも微妙に違った性格を持っており、治療法もがんの中心の位

食道がん手術の歴史

世界で初の食道がん手術は、1877年にドイツのCzerny(チエルニー) 医師によって行われました。しかし、これは首の食道がんを切除したものです。胸の食道がんに対しては、1913年にアメリカのTörlek(トーレック)

ています。さらに腹の操作は腹腔鏡を用いることで腸への負担も減らすことができるため、胸・腹腔鏡下食道亜全摘という術式で行なっています。この術式を導入してから当院では、周術期死亡率は0を継続中です。

初めての食道がん手術から100年以上経って、様々な努力と医療の進歩により、全国の食道がんの術後死亡率は3%程度まで改善してきました。それでも他のがんの手術に比べると高い数値です。

こちらから「こんにちは診察室です」のバックナンバーがご覧いただけます。

